

# 『関西大学年史紀要』の復刊にあたって

年史編纂委員会委員長 蘭 田 香 融

平成二年三月に刊行して以来、長らく休刊状態にあった『関西大学年史紀要』を再び発行することになった。実に七年ぶりである。『年史紀要』の刊行が休止していたのは、昭和五十七年から進めていた『関西大学百年史』の編纂を優先し、そちらに精力を注いだからであった。そして平成八年三月、『百年史』（五巻六編）は「資料編」の刊行をもってすべて終了した（編纂の経緯は今回の『年史紀要』に掲載されている「『関西大学百年史』の編纂を振り返って」と題する報告に詳しい）。『百年史』の完成に伴い、編纂作業を行っていた「関西大学百年史編纂委員会」と「同編纂専門委員会」は解散し、かわって年史編纂に関する恒常的な資料収集、整理、活用等の業務を推進するため「関西大学年史編纂委員会」が組織された。そして『年史紀要』もこの委員会のもとで編纂されることになった。

復刊にあたっては、従来の構成を踏襲しつつ新たな内容を盛り込むよう努力した。また、体裁については使いやすさ、見やすさに重点を置いて大幅に改めた。その意味で今回の復刊は、実質的には新刊に近いものと言える。詳しくは本編を通読していただきたいが、以下に内容の概略を紹介しておこう。

巻頭には総合情報学部の設置にまつわる座談会記事と略年表を掲載した。昭和六十一年の創立百周年から

すでに十年あまりが経過したが、この間の大きなできごとの一つが平成六年四月の総合情報学部設置であった。この座談会では、高槻キャンパスの開設と総合情報学部の発足に直接関係されたり、衝にあたられた方々から校地開発の経緯や教学体制・施設設備の整備経過その他、苦心談などを伺った。

研究報告は、先に記した「関西大学百年史」の編纂を振り返って、資料紹介は、代言人の砂川雄峻（のちに本学の首席理事）が明治二十三年から二十四年にかけて発行した「商法問答新誌」についての解説を法学部の栗田和彦教授にお願いし、それと関西法律学校の卒業証書と及第証についての紹介を掲載した。

また、従来より資料集として継続してきた「新聞集成」は、明治四十一年の関係記事を大阪朝日新聞・大阪毎日新聞からピックアップして収録した。記事は関西大学だけでなく他大学に関するものも取り上げ、さらには本学関係者の氏名が掲載された政・官・財界記事、教育事情や文化・社会事情なども拾い上げており、新聞記事で見る教育関連史といった色彩のものになっている。

ところで、この明治四十一年の新聞記事の中には、本学の前身である関西法律学校の創立に深い関わりを持った児島惟謙の死亡記事が含まれている。関西法律学校と児島との関係という場合、すぐに思い出すのは児島が明治二十一年の初めごろ関西法律学校の「講師・校主・幹事各位」に宛てて差し出した一通の書簡である。それはこの当時、学校で起こっていた財政問題にからむ小さなトラブルに触れたもので、経営問題に口をはさもうとする講師たちをたしなめた上で「校主・幹事・講師ノ責任ヲ分明ナラシメ銘々其本分ヲ固執シ、本校ノ基礎ヲ固メ」と述べて教育と経営のけじめを力説している。教育と経営のけじめとは、教育の立場にある者が軽々しく経営に介入してはならないということであり、また同時に、学校の使命である教育を経営の立場に埋没させてはならないということでもある。この書簡には児島の本校に対する情熱と卓越した指導性が貫かれており、ここに見られる発想と論理は、後年の大津事件に際して見られた、「司法権独立」のそれと全く同一である。私たちは関西法律学校、そして関西大学の順調な発展のかけに、この偉

大な児島精神が強く脈打っていることを忘れてはならない。こうしたことを考えると、明治四十一年の児島の死は、関西大学にとつてもかけがえのない指導者を失った大きなできごとだったと言えるのである。

『新聞集成』のあとには「年表」を収めた。これは『百年史』の「年表・索引編」のあとを受けて昭和六十二年から平成七年までの本学関連事項を「教学・法人事項」と「学生関係事項」に分けて収録したものである。なお、「新聞集成」と「年表」には検索に便利なように人名索引等も付した。以上が今回の『年史紀要』の概要である。

もともと『年史紀要』は、本学の年史編纂のために資料を収集・記録する目的でスタートした。『百年史』が完成した今、ひとまず所期の目的は達したわけであるが、関西大学が続く限り、日々新たに歴史は付け加わっていく。来るべき年史編纂に備えて、資料を整理・保存しておくことは必要欠くべからざる作業と言えよう。また、広く研究論文等のご寄稿も大いに歓迎したい。『年史紀要』の発行は、これからも続いていく息の長い事業であり、今後とも一層の努力を重ねたいと考える次第である。この機会に本学に関係をもたれるすべての関係者各位に倍旧のご支援、ご鞭撻をお願いしたい。